

2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [金沢市立四十万小学校] 担当教諭名 [坂上 則子] (6年1組 37名)

交流相手国 [台湾]

海外学校名 [Rixin Elementary School] 担当教諭名 [王 慧玲]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	金沢の良さを伝えよう	50
	英語	自己紹介をしよう	5
	国語	ようこそわたしたちの町へ	12

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	伝統的な金沢 未来の金沢
絵に込めたメッセージ	金沢の昔から伝わる物や人の良さとともに未来の金沢へ託す夢を盛り込んだ
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<p>昨年の交流校(文雅小)と今年度の交流校(日新小)の児童の皆さんが本校を訪問してくれたことで外国の文化や外国に対する興味が増し、交流に積極的になれた。また英語に対する意欲が高まった。</p>	<p>直接交流することをメインとしたため、フォーラムを使った交流やテレビ会議をしなかったため交流に対する相手意識は弱かった。また、金沢を紹介するための金沢巡りなどの活動も総合の時間に組み込んでいたため時間的余裕がなかった。</p>

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
<p>学習発表会で相手国に対して調べたことを発表した。またこちら側で作成した分の絵も展示した。卒業式では校内に掲示した。学年だより学級だよりでも交流の進み具合を家庭へ知らせた。</p>	<p>2回の交流会についても大変好意的な反応が多かった。国際交流について家庭でも興味を持ってきていた。</p>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	5月	もし世界が100人の村だったら	星稜大の方にゲストティーチャーとして来ていただき児童がいろいろな国の人と仮定して話を聞いた。世界の中の日本に対する認識、日本以外の国についての知識を得ることで交流への興味関心が高まった。	総合3
情報収集	6月 7月	金沢めぐり 金沢のパンフレット作成 自己紹介作成	金沢の良いところを見つけるため金沢について自分のテーマを決めて調べ実際にグループごとに見学した。その後パンフレットとしてまとめた。 交流相手に対して自己紹介を書いた。 その活動も交流相手を意識して途中で投げ出さずに最後まで活動することができた。	総合15 国語12 英語2
テーマ検討	11月	金沢の良いところはどこか考える。 絵には何を書いて伝えれば いいか考える。	絵のテーマ:伝統的な金沢 未来の金沢 金沢めぐりをして自分の心に残ったことを上げ絵に描くことを話し合った。伝統的→兼六園ことじ灯籠、菊桜昔の学校の様子 未来→新幹線、金沢駅鼓門、21C 美術館、ひやくまんさん等を描くことにし、実行委員を中心に下絵を描いた。	総合8
制作	11月	学習発表会で伝えることを 決めよう	テーマごとにグループを作り、調べて発表の準備をした。絵の色塗りはグループごとに交代でおこなった。テーマ:アートマイル、台湾、金沢の伝統	総合12
	1月	お薦めの金沢を伝える 交流会であることを考える 日新小との交流	日新小訪問の前に金沢のお薦めスポットを手紙で紹介した。交流会であることを話し合い準備をする。学校紹介、伝統的な遊び、大縄跳び体験を行い自分達の思いが通じたときには達成感を感じていた。	総合10 英語2
鑑賞	3月	絵の鑑賞	自分達の描いたことと対比して何が書いてあるかを推測していた。感想を伝えたいという思いで手紙を書いた。	総合2 英語1

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	金沢めぐり、交流会を通し、自分の国の文化伝わってきた物や事柄に対する認識を強く持てた。伝統的な文化だけでなく伝えてきた人たちへの尊敬の念を持つこともできた。
異文化の理解	A	5	文化の違いに気づくだけでなく、違っていることもいいことだ、すばらしいことだという思いを交流を通してもつことができた。英語をもっと使えるようになっていろいろな国の人たちと仲良くなりたいという思いを持つことができた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	5	直接交流することをきっかけに自分の思いを相手に伝えたいという気持ちを強く持ち英語だけでなくジェスチャーや表情などを使ってでもコミュニケーションを取ろうとする児童が増えた。手紙を書くときには英語に抵抗がある児童も簡単な語形をもとにして何とか思いを伝えようと取り組んでいた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	4	金沢を調べる時にはインターネットを活用し必要な情報を集めることができた。台湾について調べる時に情報収集があまりできず、直接学校生活の様子をメールで聴くこともした。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	3	学級内では人間関係が作れたと思うが、交流相手とは直接交流以外に目に見える形で交流することができず相手意識は弱かった感じる。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	絵を描くときに実行委員を中心に活動できた。建物、人物、背景など得意なことを生かして下絵、色塗りをすることができた。
学習を追究する意欲	A	4	相手がいると意識することで最後まで粘り強く調べること、まとめること、英語で手紙を書くことなどの活動ができた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	3	絵は実行委員主体で活動していたので表現力は充分とは言えないが、児童は大きな絵を完成させたことで充実感を持てた。
作品を鑑賞する力	B	3	卒業の1週間くらい前に送られてきたので十分時間をかけて振り返りができなかった。